

「臨床実習を乗り切るために」
現(H27年度)6年生が新5年生に伝えたいこと (全回答者25人)

アンケート結果 全回答者の回答やコメントを掲載しています。内容を見ると、様々な考え方があることに気付くと思われ
について す。真剣な回答もありますので、臨床実習を有意義に過ごすために役立ててください。

1. 臨床実習で良かったことを教えてください。		回答者数
回答・コメント	座学では勉強できないことが臨床ではたくさん学べた。	6
	各科の先生方・看護師の皆さんと話せたこと。	3
	医者の実際の仕事を間近で見ることができた。	3
	手技を経験できたこと。	2
	実際に患者さんと触れ合っ勉強できたこと。	2
	朝の早起きに慣れて、規則正しい生活リズムになった。	2
	今まで学んできたことを実際に活かすことができた。	2
	長大の先生は教育熱心なので、一つ一つの時間がとても勉強になった。	2
	授業で習ったことを実際に見て学ぶことができたこと。	2
	医者になる準備がスタートできたと同時に、社会に適応する練習になった。	1
	医療スタッフの一員として役割を与えられることもあり、少しは貢献できたと感じる場面もありました。やりがいを感じた。	1
	勉強をやるうと思えるようになったこと。	1
	将来の専門を決める上で、各科のインプレッションを確認できた。	1
	担当症例の疾患理解が深まったこと。	1
	先生方との会話を通して、自分のやりたいこと、進路などが見えてくる。	1
	全く興味の無かった科でも、意外と向いているかもしれないなど新たな可能性に出会える。	1
	担当させていただいた患者さんとのコミュニケーションを通して、勉強だけでなく色々なことを学ぶことができ、いっぱい応援してもらえたこと。	1
	若手医師がどんな感じか少し分かった点。	1

問 2. 臨床実習で苦労したこと・悩んだことを教えてください		回答者数
回答・コメント	4年次までの講義と違い仕事のように毎日登校すること。特に朝の集合時間が早い科が大変だった。	4
	レポートや発表が大変だった。	3
	班の人との人間関係や仲良くすること。	3
	先生が忙しいときになかなかお会いできず質問できなかった。	3
	実習の終了時刻が科ごと、日ごとなどにより色々変わるし、その中でレポートや課題が出たりするので、自分の勉強する時間を確保するのが大変だった。	2
	知識が追いつかないことが多々あった。(でもそれだけ勉強することにやる気が持てた)	2
	どこまで処置に参加して良いか分からなかった。	2
	実習の初期に放置される科にあたり、何をすれば良いか分からなかった。	1
	寝ている患者さんを起こすこと。	1
	実際の患者さんへの問診は、頭でコミュニケーションしていても聞き忘れなどが出てしまうことがある。	1
	毎週または2週に一度科が変わり、新しい科に慣れるのに少し時間が掛かる。	1
	患者さんごとの接し方。	1
	予後不良の疾患の疑いが強く、精査中の患者さんから、『いつごろ退院できるの？よくなるのかな？』とたずねられたとき、誤魔化したけど、どうすることが良いのか難しいなと感じた。	1
	座学で習う薬剤名と実際に使用する商品名が異なるので分かりにくい、先生たちが当然のように略語を使うので話が分かりにくいことがある。(同じ略称でも科によって意味が違うことも)	1
	カンファ⇒発表の繰り返しに飽きた。	1
	カンファランスの発表を制限時間内に終えること。	1

問 3. 実習中、5年生のオリエンテーションで「ここを覚えておいてほしかった」と思ったことはありましたか？		回答者数
回答・コメント	レポートを書く際に特に必要なので、カルテの見方(画像、処方など)や薬の調べ方をオリエンテーションで覚えてほしかった。	2
	講義で用いたプリントは割と大事。	1
	電子カルテの具体的な使い方(どのメニューからどの項目が見れるかなど)	1
	実習での態度、患者さん、スタッフの方への接し方。	1
	病院の中の構造がよくわからなかったため、詳しい地図などがほしかったです。	1

問 4. 新5年生のために、臨床実習に関するアドバイスをお願いします。		回答者数
-------------------------------------	--	------

回答・コメント	積極性を持つこと。心身ともにバランスをととのえること。あとは楽しんで参加すること。	2
	各科の予習・復習をすること。2年後（＝研修医）のイメージ！	2
	がんばってください。	2
	興味のある科、ない科があると思いますが、どの科もおもしろいので興味を持っていくといいと思います。	1
	早く寝たほうが良いです。	1
	興味のない科でも、自分にできることが必ずあります。ぜひ積極的に実習に参加して、多くのことを学んでください！長崎大学の先生は優しいので、勉強のことだけでなくたくさんのためになる話をしてくださるので、聞くといいと思います。	1
	適度に力を抜くこと。	1
	楽をしようと思ったり、忙しくしようと思ったりすれば、実習はその通りにできます。頑張りすぎる必要は無いと思いますが、それぞれの科をまわる前になんらかの目標を持つことをすすめます。	1
	思ったより、何とかできます。	1
	実習の前に少しでも回る科の事前の準備を行うことは大事。自分は4年時のテストの復習を行っていた。	1
	実習がはじまってからすぐに勉強するべき。	1
	普段あまり勉強しない人は、実習中に会った疾患だけでもきちんと学習するといいいと思います。それだけでとは言いませんが、真面目に集中して取り組みれば、実習で得られる経験や知識は自分にとって大事な財産になります。	1
	時間を守ること。個人の問題ではなく、班員や先生にも迷惑をかける。社会人として常識。	1
	プリントや聴診器など持ち物が多いので、バッグを持ち歩いていました。ときどきバッグの置き場所に困ることもありましたが、便利でした。	1
	行く前に基本の解剖やQ Bを見ておくとよいと思う。マイナーや外科は特に。	1
	財布は持ち歩きましょう。	1
	もっとネット講座をしておけばよかった。	1
	患者さんとももちろんだが、先生たちとのコミュニケーションも大切。人間関係が難しいところもあるが、上手く対応できるように頑張る。	1
	積極的に謙虚な姿勢で実習に臨んでください！	1
	最初は慣れない環境でわからないことも多いと思いますが、どんどん積極的に先生に質問をして、多くのことを吸収していったほうがよりよい実習になると思います。	1
	とりあえず何か答えることが大切。	1
	できれば実習が始まる前に事前に勉強していくといい。本当に大変だけど、例えば消化器の実習中、消化器の勉強をしつつも次に回る科の予習ができていると、カンファや説明してくれることが0からよりも分かるし、何をどう質問したらいいのか（ただやみくもに『わからない』というよりもより具体的に）分かるし、身になる。	1